

株式会社 中原製作所



本社外観

- 本社所在地：岡山県岡山市中区
- 事業概要：印刷機械部品、フィルム製造装置部品、半導体製造装置部品、リチウムイオン電池製造機部品、産業用ロボット部品、組立、保守・保全
- 常時使用する従業員：47名
(2025年12月時点)
- 現在の売上高：24億円
(2024年12月期)
- 法人番号：5260001004911
- Web：https://www.nkhr.info/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
中原 健太郎

「ロールtoロールで、世界のものづくりを支える次世代企業へ」

株式会社中原製作所は、創業以来、印刷機械部品の加工で実績を積み重ね、特に「ロール加工」を強みとして高精度・高品質な加工技術を磨いてまいりました。現在ではその技術を基盤に、フィルム製造装置、半導体製造装置、リチウムイオン電池製造装置、産業用ロボットなど、成長分野の製造装置部品へと領域を広げています。今後は、設備力・人材力・開発力をさらに強化し、「複雑加工」「一貫対応」「短納期」という価値を世界に広げることで、地域に根差しながらもグローバル市場で選ばれるものづくり企業となることを目指します。社員が誇りを持って働ける職場づくりと、環境に配慮した生産体制への投資を進め、持続可能な社会づくりにも貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2050年に売上高100億円達成

- ・「加工＋組立＋保守」までの一貫体制で、装置メーカーの主要パートナーとして位置づけを確立
- ・成長分野（半導体・電池・環境関連装置等）向け受注を拡大し、事業ポートフォリオを高度化自動化
- ・高収益体質へ転換技能継承と人材育成を仕組み化し、持続的に成長できる組織へ

課題

高精度・難加工に対応する設備投資と加工技術の高度化技術継承と人材確保（技能者／設計／品質／保全人材）生産性向上（材料投入などの自動化、工程最適化）と短納期対応の強化生成AIを活用した技能継承・業務標準化・品質保証支援の仕組みづくり国内外の新規取引先獲得（装置メーカー）

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・社長直轄の「成長事業推進チーム」を設置し、設備投資・人材・品質・営業を横断管理
- ・自動化推進：材料投入工程など、現場の負荷が大きい作業を中心にロボット導入を進める
- ・生成AI推進：社内AI活用ルールと教育体系を整備し、技術継承・業務標準化を全社で展開

実施体制

- ・設備投資：難加工対応の加工機・研削・測定・検査設備を強化
- ・ロボット自動化：材料投入・搬送・検査補助などを中心に自動化し、省人化と安定品質を両立
- ・生成AI活用（事業承継型AI）：技能・ノウハウの可視化／マニュアル化／教育支援、品質不良の要因分析支援、検査基準・加工条件の標準化設計・見積・工程設計の効率化、属人化の解消
- ・品質保証強化：工程内品質の標準化、トレーサビリティ整備
- ・販路拡大：成長産業分野の装置メーカーとの協業強化、新規顧客開拓
- ・環境投資：省エネ設備導入とCO₂削減を意識した工場運営

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです